

Liedduo

Keiko Obai
& Mizuko Uchida



プログラム

- R. シューマン：『ミルテの花』作品25より 抜粋
「献呈」「くるみの木」「ズライカの歌」ほか
- C. シューマン：『3つの歌曲』作品12
(R. シューマンとの共作：『愛の春』作品37より クララ作曲の3作品)
- R. シューマン：『3つのロマンス』作品28より 第二番 嬰へ長調(ピアノ)
- C. シューマン：ロマンス ロ短調(ピアノ)
- 蔦田 尚 昊：『智恵子抄』(詩：高村光太郎)
- R. シューマン：『女の愛と生涯』作品42
- 小林 秀 雄：落葉松 ほか

2024年8月25日(日) 13:30開場 / 14:00開演
クララザール じゅうろく音楽堂

〒500-8302 岐阜市本郷町1丁目28番地 Tel. 080-4876-2241

全席自由 2,000円 (5月中旬発売開始予定)

- チケット購入方法
1. 全国のセブンイレブン店舗のマルチコピー機「セブンチケット」から購入
 2. WEB上の「セブンチケット」より購入(支払・発券はセブンイレブンで可能)

※本公演ではプレゼントのお受け取りは致しません。

主催：公益財団法人 十六地域振興財団

企画協力：サラマンカホール

お問い合わせ先：十六地域振興財団 Tel. 080-4876-2241

歌手とピアニストがデュエットをするように詩の世界を音楽で紡ぎます
今回は「人生の伴侶」へ綴られた詩を中心に選びました
一緒に詩の世界を愉しむ時間を過ごしませんか

リートデュオコンサート
ソプラノ
大梅慶子 × ピアノ
内多瑞子
二人の肖像



Clara Saal
クララザール
じゅうろく音楽堂

Liedduo

Keiko Obai
& Mizuko Uchida

ミュンヘン音大で行われたコンサートにて

シューマン作曲の連作歌曲『女の愛と生涯』を弾く内多の演奏に感動した大梅が、
シューマンコンクールの伴奏を依頼したのがきっかけでDuoとして演奏し始める。

2021年、コンクールのために準備したシューマンの歌曲の録音をYouTubeで公開した所

音楽解説ユーチューバーの目に留まり、彼の動画で紹介されたことから

YouTubeにおける同作品の演奏動画の中で、最も再生回数の多い動画となった。

2022年にはミュンヘンでDuoとして初のリートコンサートを開催。

そして2024年。ついに二人の温めてきたシューマンの歌曲がクララザールで演奏される。



ピアノ 内多瑞子 Mizuko UCHIDA

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園音楽大学ピアノ科、同大学研究科を修了。石川直美、雨田信子、森安芳樹の各氏に師事。1996年より渡独。ミュンヘン音楽演劇大学大学院にてゲルハルト・オピッツ、ヘルムート・ドイチュの各氏に師事、ピアノ科、歌曲研究科共にマイスターディプロムを取得。1998年、イタリア、第一回カザルマジョーレ国際マスタークラスにて最優秀賞を受賞。大学院終了と同時に同大学声楽科伴奏員として後進の指導にあたり、国際コンクールやマスタークラスでの公式伴奏を始め、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院でのオペラクラス、オラトリオ合唱団などでもコレペティートルとしての経験を積む。

歌曲伴奏者としては、アウグスブルク・モーツァルト・フェスティバル、イサン・ユン・国際フェスティバルに招聘される等、ドイツ国内外、日本での演奏会に数多く出演。近年はミュンヘンを拠点とした歌曲演奏会シリーズ“Liederfreude”の運営も担い、若い世代の音楽家との歌曲演奏会の企画に情熱を注いでいる。

現在ミュンヘン音楽演劇大学非常勤講師、声楽科伴奏員。ミュンヘン在住。



ソプラノ 大梅慶子 Keiko OBAI

美濃加茂市出身。岐阜大学音楽教育講座卒業後、愛知県立芸術大学大学院、東京藝術大学大学院声楽科修了。更にトビタテ!留学JAPAN及び、文化庁新進芸術家海外研修制度の支援を得て、ミュンヘン音楽演劇大学大学院コンサート声楽科及びリート科を優秀な成績で修了。4年間アンドレアス・シュミット氏の下で本質に迫るドイツ歌曲の演奏法を学んだ。

歌曲演奏に定評を得ており、2020年ミュンヘンの美術館Villa Stuckで行われたLee Mingwei展で、シューベルトの歌曲を演奏するSonic Blossomの演者として従事。2022年にはバイエルン州より補助を受け、ミュンヘンで日本歌曲とドイツ歌曲を組み合わせた重唱コンサートを主催し好評を得た。2023年にはセイジ・オザワ松本フェスティバルの白井光子氏によるドイツ歌曲講習会にピアニストの海老名逢香と選抜され、参加した。

現在、2023年よりバイエルン放送合唱団の臨時団員として、同年9月よりコーブルク州立歌劇場合唱団の正規団員として勤務している。

2022年サラマンカホールオペラ「サンドリヨン」で王子役を演じたことを皮切りに、地元の岐阜でも活動を開始した。

大梅慶子ホームページにて
コンサートの情報を更新中

